

回覧

二十六年目を迎える
沖縄の中高生の

AMAWARI

現代版組踊 肝高の阿麻和利

奇跡の舞台が、
ついに宇都宮に。



宇都宮市制130周年&うるま市・宇都宮市友好都市提携2周年

現代版組踊「^{きむたか}肝高^{あまわり}の阿麻和利」宇都宮公演 8/22(土)23(日)

宇都宮市文化会館 大ホール 全席指定 S席(1階席)4,500円/A席(2階席)3,500円/B席(3階席)2,500円 5月23日(土)発売
22日(土)12:00開場/12:30開演 23日(日)11:30開場/12:00開演、16:15開場/17:30開演

〒320-8570 栃木県宇都宮市明保野町7-66 TEL:028-636-2121

※3歳以上有料(3歳未満の膝上鑑賞無料、座席使用の場合はチケットが必要) ※8月22日(土)の公演は宇都宮市文化会館プレイガイドでのみ販売いたします。
※駐車台数には限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。 ※車いす席をご希望の方は、宇都宮市文化会館プレイガイド(TEL:028-634-6244)にお問い合わせください。

主催:宇都宮市/公益財団法人うつのみや文化創造財団(23日公演) 一般社団法人TAO Factory(22日公演) 共催:下野新聞社(23日公演) 助成:一般財団法人地域創造(23日公演)

130th Anniversary
共に創り、輝き続ける うつのみや
未来を拓くまちづくり

沖縄県うるま地域の中高生が 演じる沖縄版ミュージカル。

沖縄に古くから伝わる
伝統芸能「組踊」をベースに、
現代音楽とダンスを取り入れ、
地域の歴史上の英雄・阿麻和利の
半生を描きます。

「一生懸命は、カッコイイ！」を
スローガンに躍動する中高生の
感動のパフォーマンスをお楽しみに！

【ストーリー】

幕開けは現代の勝連城(かつれんじょう)跡。「幻の村祭り」の噂を確かめるため夜の城跡に忍び込んだ子ども達。そこで噂通りの宴を目撃。突如現れた「長者の大王」から巻物とメッセージを託される。巻物を紐解くうち「阿麻和利(あまわり)」の真の姿を知る。舞台は15世紀の勝連へ。悪政に苦しむ民の叫び声に心を動かされた「加那(かなー)」（阿麻和利の童名）は、奇策を仕掛けて望月按司を追放。歓喜する民衆の前に第10代勝連城主「阿麻和利」が誕生した。平和な時も東の間、阿麻和利はやがて琉球王朝を巡る政争の渦に巻き込まれていく。国王の娘「百十踏揚(ももとふみあがり)」との政略結婚、謎の刺客、そして迎える運命の時。

【現代版組踊「肝高の阿麻和利」について】

1999年、当時の勝連町教育委員会が、子ども達の感動体験と居場所づくり、ふるさと再発見・子どもと大人が参画する地域おこしを目的に企画したのが始まりです。そこで注目したのが沖縄の正史で反逆者として伝えられていた第10代勝連城主「阿麻和利」。しかしその真実の姿を多くの資料を元に追い求め、郷土が誇る英雄として蘇らせた舞台が現代版組踊「肝高の阿麻和利」。演じるのは、うるま地域の中高生たち。2000年の初演以来、沖縄県内外、海外での公演を重ね、公演数300回以上、総入場者数20万人超を記録。子供たちに情熱と誇りを与え、地域を変えた奇跡の舞台。今やその試みは沖縄の他地域をはじめ、県外にも広がっています。

【宇都宮市長からのメッセージ】

このたび、友好都市である沖縄県うるま市の中高生による「肝高の阿麻和利」を、本市制130周年の節目にお迎えできることは、誠に喜ばしく、心より歓迎申し上げます。私もこの舞台を拝見し、若者たちが全身で表現する力強さと、ひたむきでエネルギーあふれる姿、そして郷土への誇りに満ちたその姿に、深い感銘を受けました。本作は、ふるさとの歴史や想いを次の世代へつなぐ舞台であり、その情熱は観る者の心を強く揺さぶります。本公演が、文化の魅力や地域を越えたつながりを実感する機会となることを期待しております。ぜひ多くの皆様にご来場いただき、その感動を体感してください。

宇都宮市長 佐藤 栄一

